

---

# 天体物語

龍樹

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

天体物語

### 【Nコード】

N7965B

### 【作者名】

龍樹

### 【あらすじ】

まだ、宇宙が誕生する前の、月と太陽の恋の物語。

## 序章

ひやりとした空だった。

月に住む兔がその身を横たえヒィと息を吐いた。  
こんな夜は、心の臓を濡らす温い血潮が少しばかり熱くうねる様で。  
赤く瞬く瞳から流れる零れる星のような滴。

嗚呼

神様、神様。

もしも貴方が本当にいるのなら。

どうかどうか

この想いをすくってあの太輪へ

届けては、下さいませんか？

天鰐 ソライイ。

天体の始祖が生まれる時代。  
まるで世界の胎盤。揺り籠の中の空間、時間。  
宇宙が始まるよりもずっと昔、音を超え光を超えその存在は育まれていた。

名をぎよくと、玉兔と言った。

彼女は白く清らかな絹の衣を羽織り、その姿は他と較べる意味を霞ませる程に聡明で美しく優しかった。

彼の星が散り灯火が潰えたと見れば涙し、魂が存在すら得ない内に空を彷徨つと聞けば踞り祈りを捧げた。

慈愛に満ちたその紅く輝く双玉はこの世の至宝と謳われ、不浄の大地に触れる事すら苦痛を伴う程に清らかな存在として識れていた。

玉兔は天鰐の中心にある大きな屋敷の一室に住み蝶と戯れ花を眺める日々を暮らしていた。

これは彼女の物語である。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7965b/>

---

天体物語

2010年10月11日02時08分発行